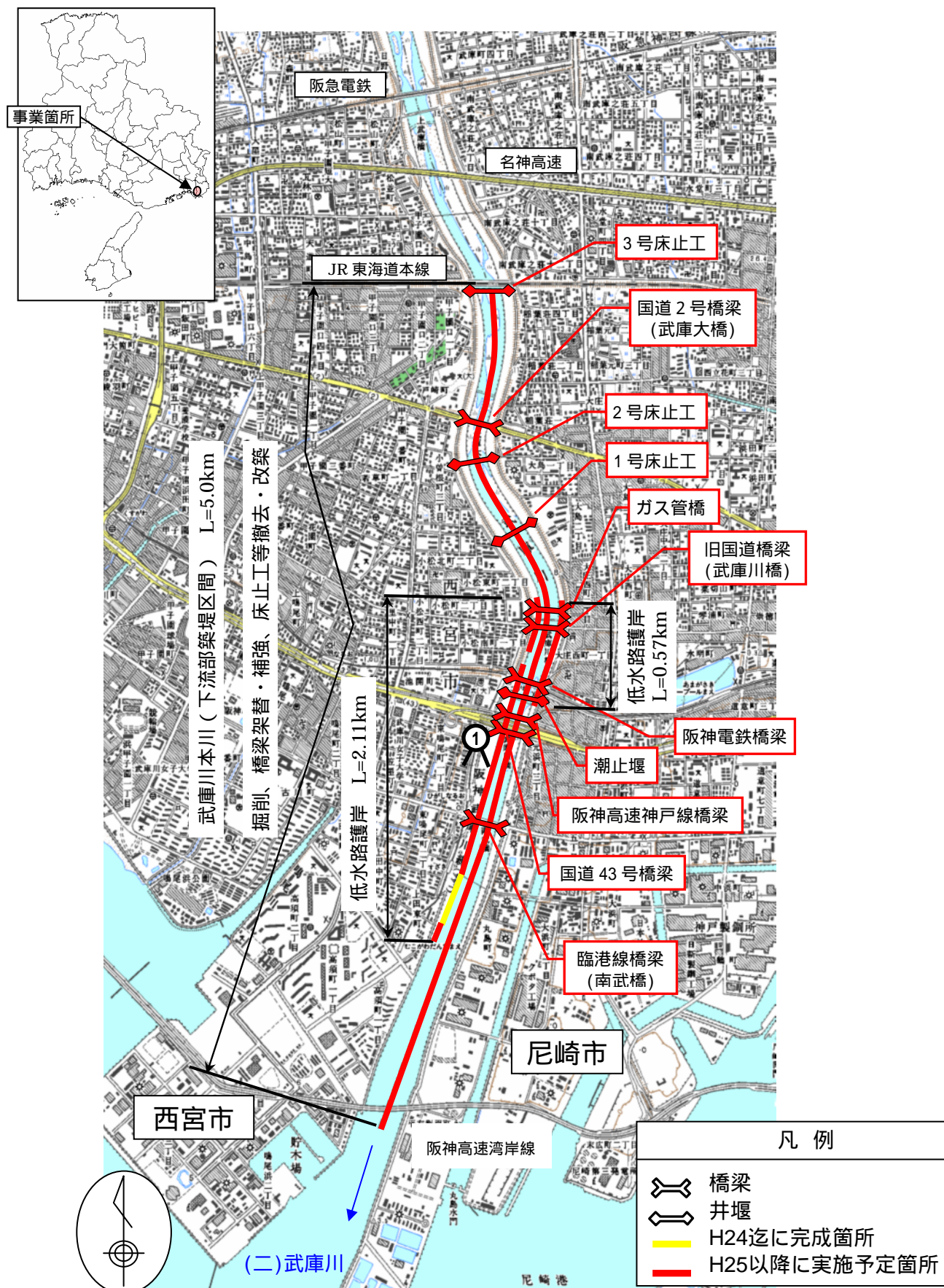


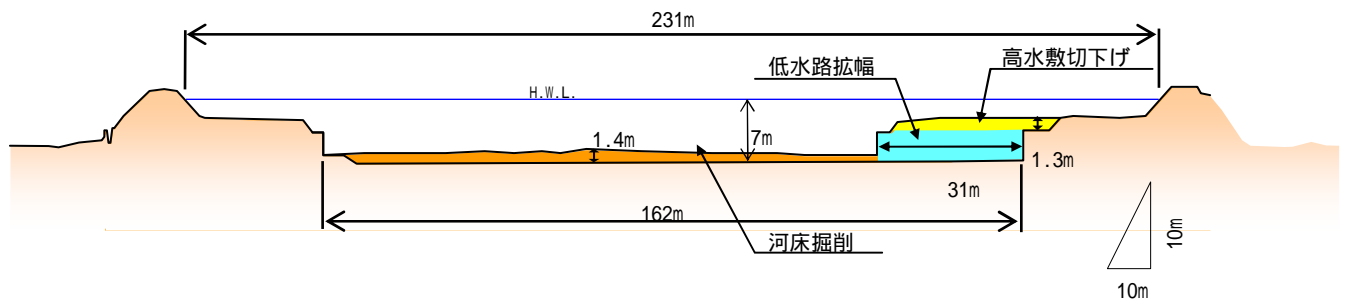
【流域治水対策河川事業 本川(下流部築堤区間) 平面図】



未整備区間(国道 43 号橋梁より下流)

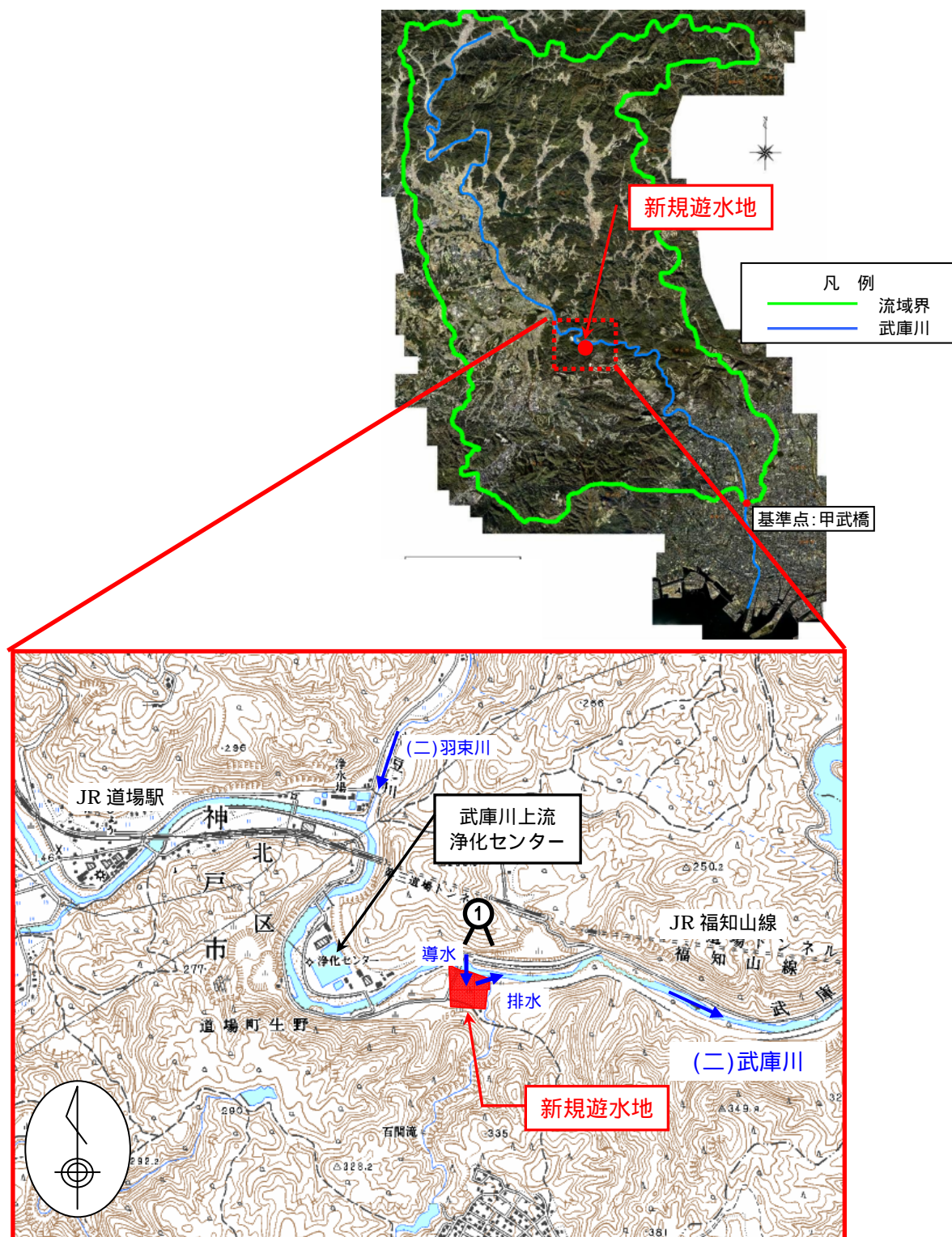


標準断面図(国道 43 号橋梁下流 2.3K 付近)



事業平面図

【流域治水対策河川事業 本川(新規遊水地) 平面図】



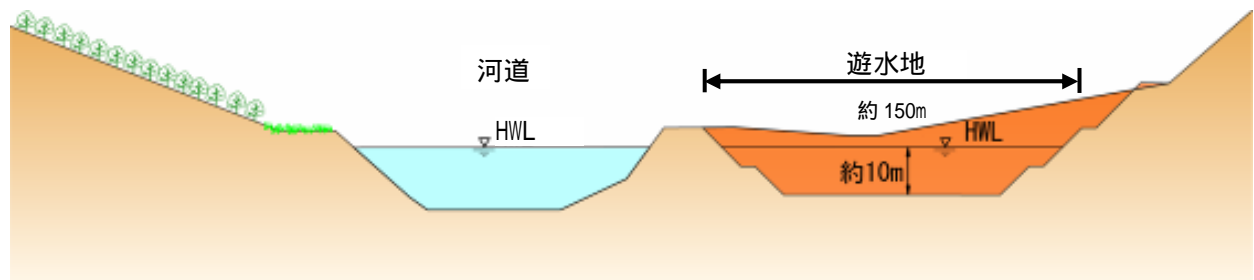
新規遊水地 諸元	
容 量	約 133,000m ³
水 深	約 10m
面 積	約 2.2ha

凡 例	
	H25以降に実施予定箇所

未整備区間(武庫川上流浄化センター拡張用地 現況写真)



新規遊水地 整備横断イメージ



【 6 - 0 2 二級河川 武庫川(下流工区) 流域治水対策河川事業 】

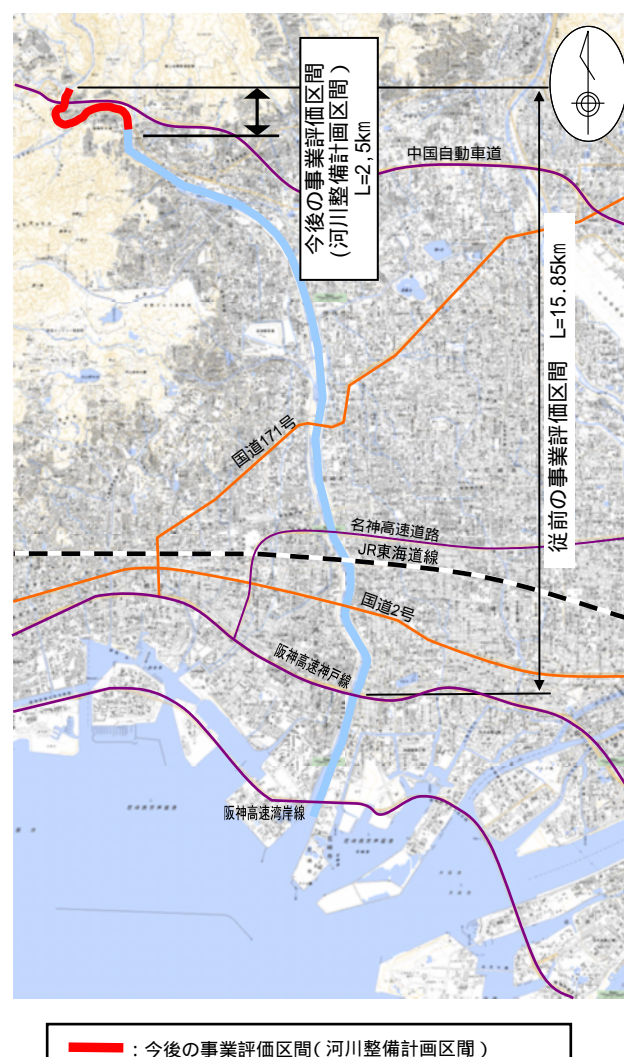
[従前] 従前の事業評価区間での比較

	現計画	前回評価時点 (H21 中間報告)
事業採択年度	昭和 62 年度	昭和 62 年度
完成予定年度	平成 42 年度	平成 30 年度
総事業費	837 億円	822 億円
整備延長	15,850m	15,850m
整備区間	西宮市武庫川町～西宮市塩瀬町	

[今後] 河川整備計画に位置付けられた、今後の事業評価区間での比較

	現計画	前回評価時点 (H21 中間報告)
河川整備計画策定年度 (事業採択年度)	平成 23 年度	平成 23 年度
完成予定年度	平成 42 年度	平成 30 年度
総事業費	33 億円	18 億円
整備延長	2,500m	2,500m
整備区間	西宮市生瀬町～西宮市名塩瀬町	

事業概要図



事業変遷

昭和 58 年：9 月洪水（浸水家屋 79 戸）
 昭和 62 年：中小河川改修事業着手
 平成 9 年：旧工事实施計画承認
 平成 10 年：事業評価（再評価）
 平成 15 年：事業評価（再評価）
 平成 16 年：10 月台風 23 号（浸水家屋 99 戸）
 平成 21 年：武庫川水系河川整備基本方針策定
 河川整備計画策定中間報告
 平成 23 年：武庫川水系河川整備計画策定
 平成 24 年：武庫川水系河川整備計画策定完了
 報告（再評価）

河川整備計画策定報告【6-02】

部課室名	県土整備部土木局 武庫川総合治水室 河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	武庫川総合治水室長 笹倉 康司 河川整備課長 松本 正利 (課長補佐兼武庫川企画係長 勝野 真) (都市河川係長 山本 良太郎)	内線	4441 4408 (4424) (4417)
------	-------------------------------	---------------------	---	----	----------------------------------

河川整備計画名		武庫川水系河川整備計画													
河川整備計画の策定経緯		平成 21 年 3 月 10 日 河川整備基本方針策定 武庫川流域委員会(第 1 回～第 68 回) 平成 16 年 3 月 23 日～平成 22 年 9 月 16 日 河川整備計画策定 平成 23 年 8 月 26 日													
河川整備計画と事業評価の関係		採択	～ H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
		S60	H10 再評価			再評価	●	委員会立ち上げ					河川整備計画策定		報告
											中間報告 ○				
武庫川流域委員会の主な意見						対応等									
・河川整備計画の進行管理についての評価・改善の機能を担うフォローアップ委員会を設置し、「参画と協働」のもと、着実に施策・事業を実施すること。						・H23 年 9 月「武庫川水系河川整備計画フォローアップ委員会」を設置。今後は、河川整備計画の着実な推進を図るため、PDCA サイクルによる進行管理の仕組みを導入するとともに、本計画に位置付けた施策や事業の実施状況等について情報発信し、地域住民等の理解と協力を得ていく。									
・当該区間の河川整備に際しては、地域住民の意向を踏まえながら対策の検討・実施を行うこと。						・地域住民との合意形成にあたっては、河道拡幅案、河床掘削案、パンプアップ案等の複数の改修計画を提示案するとともに、それぞれの長所・短所を解説するなど、丁寧な説明に努めている。今後も引き続き丁寧な説明に努めるとともに、早期の治水安全度向上に向けて取り組む。									

事業種目	河川事業	新規評価年度	-		現 計 画 ¹	前回(H21) ²
事 業 名	二級河川武庫川水系 武庫川（下流工区） 流域治水対策河川事業 (住宅市街地盤整備事業)	河川整備計画策定年度	H23	総事業費	33億円	18億円
		〔事業採択年度〕 着工年度		内用地補償費	11億円	6億円
		再評価年度	-			
事業区間	西宮市生瀬町～塩瀬町			完成予定年度	H42	H30
所 在 地	西宮市生瀬町～塩瀬町			進 捗 率 (内用補進捗率)	0.3%(0%)	0%(0%)
				残事業費	33億円	18億円

事業の目的	事業内容	現 計 画	前回(H21)
武庫川流域では、昭和58年台風10号による甚大な浸水被害を契機に、昭和62年度から河川改修を進めてきた。平成16年10月台風23号により、当該区間で浸水被害が発生した。このため、「武庫川水系河川整備計画」に基づき、戦後最大洪水(昭和36年6月洪水)と同規模の目標流量を河道内で流下させ、地域住民の安全・安心な生活環境を確保する。	計画流量	2,700m ³ /s (生瀬地点)	1,900m ³ /s (生瀬地点)
	整備延長	2,500m	2,500m
	築堤、掘削、護岸	1式	1式
	道路橋	1橋	1橋
	〔負担割合 国 1/2、県 1/2〕		

【前回中間報告時点からの事業計画の変更概要】	
河川整備計画の策定に伴い、河川整備計画にあわせ事業区間等を見直した。	
(1)必要性	高度に都市化された阪神間市街地を浸水被害から守るため、掘削、築堤、護岸、横断工作物の改築等の河川改修工事を実施しており、残区間の治水安全度を早期に向上させるため、継続的な整備を実施する必要がある。
(2)有効性・効率性	費用便益比 B/C = 14.1 河道改修及び橋梁架替を行うことにより治水安全度を向上し、過年度の浸水被害を解消する。道路事業者と連携して西宝橋架替に着手する
(3)環境適合性	自然環境の保全・再生にあたっては、計画段階から専門家の意見を聴きながら、工事後も優れた生物の生活環境を維持できるよう努めていく。
(4)優先性	残事業区間は河積が狭小で、治水上ネックとなる橋梁が存在することから、高度に都市化された阪神間市街地を浸水被害から防御する当該事業の優先性は高い。
対応方針	策定された河川整備計画に基づき、事業の早期完了に向け、事業推進を図る。なお、下流の治水安全度を考慮しながら段階的な整備を進める。

1：河川整備計画策定後、H24 年度までに整備済みとなった部分を含む。

2：前回の中間報告時の内容を河川整備計画区間で置き換えた値。

事業平面図

